

あおり家畜衛生情報 No. 2 平成28年7月

★東青地域県民局地域農林水産部 青森家畜保健衛生所

★東青地区家畜衛生推進協議会

Tel:017-764-1744 Fax:017-728-0335



韓国で豚コレラが発生！

韓国で約3年ぶりに本病が確認されました。豚を飼養する方は、本病の侵入を防止するため、**飼養衛生管理基準の順守**を徹底してください。

発生状況

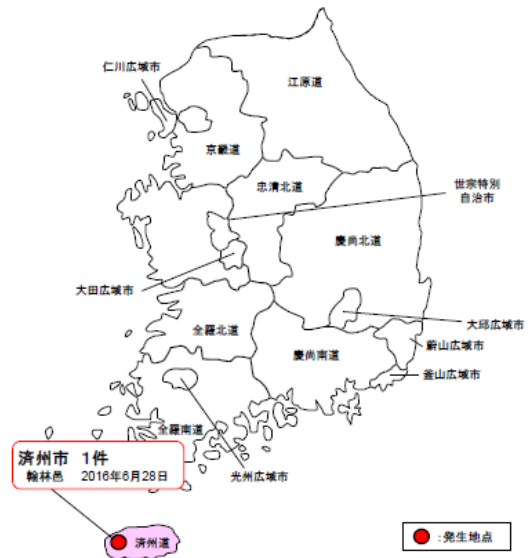
平成28年6月29日現在

- ・発生地：済州道済州市
- ・発生件数：1件(繁殖農場)
- ・経緯：豚コレラモニタリング検査(2016年1月～)で野外ウイルスを検出。

済州島は、1998年から豚コレラワクチンを接種していない清浄地域で約18年ぶりの発生事例です。

済州島は日本側に位置することからも、国内への侵入が懸念されます。

韓国における豚コレラの発生状況(2016年～)



豚コレラとは

- ・豚コレラウイルスにより起こる豚、いのししの熱性伝染病で、強い感染力と高い致死率が特徴。
- ・感染豚は唾液、涙、糞尿中にウイルスを排泄し、感染豚や汚染物品等との接触等により感染が拡大する。
- ・治療法は無く、発生した場合の家畜業界への影響が甚大であることから、家畜伝染病予防法の中で家畜伝染病に指定されている。
- ・世界各国に分布しているが、北米、オーストラリア、スウェーデン等及び日本では清浄化を達成している。

飼養衛生管理基準の要点

- 1 衛生管理区域への病原体持込み防止のため、
①**手指、靴の消毒** ②**関係者以外立入禁止** ③**食品残さは加熱後給与**
- 2 野生動物の侵入を防ぐ。病原体に汚染されていない**清潔な飲用水**を給与する。
- 3 衛生管理区域の衛生状態の確保のため、**畜舎、器具を清掃、消毒**する。
- 4 家畜の**健康観察**を行い、豚コレラを疑うような症状がみられた場合は速やかに**家畜保健衛生所に連絡**する。
- 5 感染ルート特定のため、**衛生管理区域に立ち入りに関する記録**を作成する。
- 6 伝染病の発生予防に関する**最新の情報**を把握する。

豚コレラの症状

豚コレラは様々な症状を示し、死亡率が高い感染症です。まず元気消失や食欲不振、次に目やに、呼吸困難、さらに後躯麻痺、遊泳運動などがみられ死亡します。死亡までの日数も約10日で死亡するものや、30日ほどかかるものなど様々です。日本は平成18年にワクチン接種を中止し、平成19年には豚コレラ清浄国として認定されています。



家畜に異状が見られたら、直ちに**青森家畜保健衛生所**にご連絡ください
電話：017-764-1744 夜間・休日：090-2274-0474